

選者吟  
(五十音順)

うぶすなのものに遺髪も爽籟も  
井上 弘美

旅の荷のはつかなりけり翁の忌  
櫛 未知子

月見の宴の五階に鳴けり鉦叩  
坂口 緑志

金作のこゑ生き生きと柿日和  
堀本 裕樹

四囲の山晴れてみどりや芭蕉祭  
宮田 正和

特選句

井上 弘美 選

熟れ柿の天に透けたる釣月軒  
一坪の一髪の塚秋澄めり  
土塊の今朝の手ざはり秋の声

杉本由美子  
加藤 草児  
神尾早智子

櫂 未知子 選

芭蕉葉は大きな翼伊賀の空  
土塊の今朝の手ざはり秋の声  
無患子の実の降る伊賀は晴れ渡り

佐瀬はま代  
神尾早智子  
三浦 直美

坂口 緑志 選

綿虫の羽音より伊賀暮れ初むる  
紺深めいる秋茄子の一夜漬  
天神裏のもち屋の湯気も雁の頃

大西 誠一  
猪岡 節夫  
岡島 千秋

堀本 裕樹 選

芭蕉葉は大きな翼伊賀の空  
螿螂のそろりそろりと遺髪塚  
天神裏のもち屋の湯気も雁の頃

佐瀬はま代  
森永 康子  
岡島 千秋

宮田 正和 選

鯛雲俳聖殿を跨ぎゆく

松村 咲子

翁忌のけふ鯛雲いわしぐも

福田 容子

秋日和芭蕉生家を見と訪ひぬ

湊 富美子